

ティモシー・ノードによるオンラインセミナー：『Herald Painter and Scrivener』



© Timothy Noad

ティモシー・ノード氏は、カリグラフィーへの造詣もさることながら、紋章制作、装飾芸術や細密画制作における現代の第一人者であり、王室認可証書や記念コインのデザイン・作成など、英国王室の公的業務にも多く携わっているアーティストです。英国王立造幣局(The Royal Mint)が 2018 年に発行した王室 4 世代のイニシャルを刻んだ記念コイン(5 ポンド)や、今年 2021 年発行のエリザベス女王 95 歳記念のコインは、彼のデザインによるものです。(英国造幣局のウェブサイトに掲載されている記事はこちら [Behind the Design with Timothy Noad | The Royal Mint](https://www.royal.gov.uk/behind-the-design-with-timothy-noad))

彼の芸術家としてのフィールドは多岐に渡っています。また、近年、彼のイルミネーションの表現は植物や動物のモチーフに留まらず、イスラミックな表現の世界へも幅を広げています。

多岐に渡る作品を、彼のウェブサイトにてご覧ください。 <https://www.timothynoad.com/>

■ 概要 ■

タイトル： Herald Painter and Scrivener (紋章画家と写字者)

ティモシー・ノード氏の経歴を彩る作品の数々を画像で見ながら、その作品にまつわるストーリーを聞かせていただきます。また、質疑応答の時間には、作品そのものや作成に関わる質問を、講師に直接聞くことができます。

セミナーは 2 回開催いたしますが、英語のみ、日本語通訳付に分けた開催となっており、レクチャーの内容は同じです。参加申込みの際には、どちらかご希望の回を選んでお申込みください。



© Timothy Noad

開催の詳細は、下記にてご確認ください。

ご参加をお待ちしております。

ワークショップ担当： 久賀 真弓

+++++ ■ 詳細 ■

タイトル： Herald Painter and Scrivener (紋章画家と写字者)

開催日時： A: 2021 年 9 月 11 日(土) 20:00 - 21:30 (日本時間) 英語のみ

B: 2021 年 9 月 18 日(土) 20:00 - 22:00 (日本時間) 日本語通訳付き

参加者定員： 各回 先着 80 名

参加料： J-LAF 賛助会員 1,800 円 / 一般 2,000 円

国内のお支払い： 銀行振込 海外からの支払い： PayPal

申込方法： 2021 年 7 月 27 日(火)に J-LAF ウェブサイトに申込要領を掲載

2021 年 8 月 2 日(月)申込フォームをウェブサイトに掲載。22:00 より受付開始

※会員・一般ともに同時受付開始

受付後の手続： 受付完了メールにて、参加料の支払方法と Zoom の設定についてご案内。

指定期日までに参加料の入金が確認された方に、セミナー参加のアクセス情報を配信。

※期日までに参加料の入金が確認できない場合には、参加できません。

+++++
<講師プロフィール>

Timothy Noad (ティモシー・ノード)

カリグラファー、写本装飾画家、コイン・メダルデザイナー

SSI (Society of Scribes and Illuminators) フェロー会員

CLAS(the Calligraphy and Lettering Arts Society)名誉会員

Letter Exchange 正会員

(いずれもイギリスのカリグラフィー団体)



ロンドン西部、ミドルセックス在住。牛革のヴェラムにフォーマルなカリグラフィーと装飾を施した書面や贈呈・授与を目的とした巻物の制作を専門としている。

プロのカリグラファー、装飾美術・紋章美術のアーティストとしてのキャリアは 30 年以上に渡る。伝統的技術、現代的技術、双方に対する深い知識と、紋章、象徴主義、歴史的背景や自然史への深い理解に基づいて使う素材の組合せがもたらす、彼の優雅で緻密な作品は、世界的に高い評価を受けている。

1986 年に The East Surry College(Reigate School of Art and Design)を卒業後、ロンドンにある College of Arms (英国紋章院)に紋章作家・カリグラファーとして勤務。公的な紋章や家系図の制作、様々な顧客の様々な目的に合わせた紋章のデザインに携わっている。紋章院のウェブサイトでは、しばしば、彼の作品が画像で掲載されている。また、彼は HM Crown Office at the House of Lords (英国貴族院・大法官庁 国璽部)においても、カリグラファー・装飾芸術家として、多くの重要な特許文章の発行に携わっており、それらの中には、エリザベス女王陛下の名の下に発行される装飾を施した勅許や貴族院・最高裁判所が発行する任命書などがあるが、ウィリアム王子とキャサリン妃の結婚承諾書も彼の手による。

彼の歴史に対する探究心によって、Birkbeck, University of London(ロンドン大学バークベックカレッジ)での修学、及び、Courtauld Institute(コートールド美術研究所)における 15 世紀からの絵画と写本装飾の研究による修士号取得に到った。そこで得た知識により、歴史的な写本や装飾画の再現・複製にも取り組む。その活動がテレビ番組となったことがある。

また、英国王立造幣局(The Royal Mint)が発行するコインやメダルのデザインにおいても功績を上げている。1 ポンドコインのデザイン、エリザベス女王の即位 50 周年記念、60 周年記念のメダル、英国王室 4 世代のイニシャルを刻んだ記念コイン(5 ポンド)などのデザインを担当。

彼の作品の多くは、エリザベス女王をはじめとする王室の方々や著名な人々及び団体からの依頼によるものである。最近では、ウェストミンスター大修道院、クライスト・チャーチ、オックスフォード、イートンカレッジ、ロンドンの同業組合、サザビーズ、ヒストリックハウス協会などから。また、彼の作品の一部はロイヤルコレクション、ビクトリア&アルバート美術館、ケンブリッジのフィッツウィリアム美術館に所蔵されている。リッチフィールド教会、ゴールド・スミス・ホールやテートブリテンなどで展示されたものもある。

著書： The Art of Illuminated Letters (with Patricia Seligman 1994)
The Illuminated Alphabet; Mastering Calligraphy (1996)

講師ウェブサイト：<https://www.timothynoad.com/>

